

会報

第 123 号

1997年 10月1日発行

発行人 圓口佳昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内20
TEL/FAX 075-981-8863, 982-8864
nomasuda@mbx.kyoto-inet.or.jp
KYOMYCOM@mbx.kyoto-inet.or.jp

京都マイコン研究会

(社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会

祝 創立20周年記念特集

併催 京都マイコン研究会
「パソコン20年を振り返って」

1977年(昭和52年)7月設立との日本マイコンクラブ私との出会いは、電波新聞社発行の月刊「マイコン」、日本マイコンクラブ京都支部結成準備会は81年1月11日石田、若林、小寺、圓口で初会合、1. 目的 マイクロコンピュータに興味を持つものの交流を深める 2. 内容 勉強会というもので3月15日に設立、加藤さんが参加、大阪マーチャндаイズ・マートでのマイクロコンピュータショー室W1大阪7月4日午後 日本マイコンクラブブースに集合 見学。7月1日には現在交流がなくなっていますが関西マイコンクラブ(関西支部)が発足しています。マイコンブームのスタートでした私達の京都マイコンクラブはマイコン雑誌 RAM、I/O、マイコンへの会員募集案内を出し、原稿が2紙にのり会員が増えてきました。7月例会は マイコン入門講座、8月例会はBASIC入門講座を計画。

年月がたってもマイコンクラブのテーマは勉強、講習、最初の取り組みから考えると、ソフトの拡大により、消化不良になる状況で、超勉強法や整理法思考で新しく取り組み方を考えないといけない状況になっています。

マイコンクラブとして新しい21世紀を迎えられるクラブをみなさんと考えだしたいと思います。

京都マイコン研究会 会長 圓口佳昭

次回例会

日時 97年 10月 4日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

内容 パソコンチューンナップハード部会
(その後ノートPCは?)

Office97 (吉川)

(MS-Word 97)

インターネット部会 (若井、若井)

完成したHTML。

例会報告

1997年 9月 6日 (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 中西洋、若林、中辻、若井、
河原、増田、圓口、中西秀、岩井
9名

内 容

MS-Office97 部会 IME95 (圓口)

概要

インターネット部会 (若井)

今、なぜインターネット！

nomasuda

増 田

去る、9月22日（月）午後7:00より9:00まで。八幡市商工会館に於いて「**今、なぜインターネット！**」第2回ホームページ作成講座を開催いたしました。



してみようと言うことで開催されました。

みなさんの関心は強く最後まで熱心に講師の「野沢女史」の話に聞き入っておられました。

NTT電話回線のセッティングとNTT持参のプロジェクターのセッティングに手間取りましたが。スムーズに講習会を終了させていただきました。

この講習は、延べ4回のシリーズで次回は、NTT京都支局からOCNデモ部隊がノートブックを10数台持参しての講習をしていく予定です。

今後も、このようなみなさんに利用技術を伝える



第一回目は、八幡市文化センター／小ホールに於いて開催いたしました。NTTがPHSでインターネットを紹介、京都マイコン研究会会員

（野沢晴美 女史）がインターネットに付いて講演。参加者は初心者ほとんどで中には70才近くの方がおられました。その方に少しお話を聞きましたが、中級程度のパソコン認識度で私が説明する言葉や用語を理解されておられましたのでその方の風貌（お百姓さんのようで背中が弓の様にしなっていました。）から判断して少し驚きました。約40名強で女性3割（20才～30才代）で男性7割でした。

第2回目の今回は、八幡市商工会館で開催。参加者は約50名でホームページを実際に作成

機会があれば随時このような講習会を開催していく予定です。

（社）パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会の創設20周年記念の年でもあり、私の在する京都府八幡市も市制20周年にあたります。

より多くの方に参加していただきパーソナルコンピュータの利用技術を少しでも広めていく努力は京都マイコン研究会の会員の中だけではなく、一般に開かれた公的な研究会活動や利用技術の伝達も、私たちが未来に向けてさらなる発展と技術の習得には欠かせない要素の一つだと思います。

b obup_iy の 忘 備 録

HIROYASU. IWA

インターネットの世界が認識される前に誕生した姓はP C、名は9 8 2 1 Nf といいます。

1993年頃(約5年前)に日本で最初にペンティアムを搭載しWindows 3.1がインストールされたNECのノートパソコンPC9821Nfです。クロック75MHzのPentiumを積載しRAMは16Mバイト、HDDは810Mバイトを内蔵しています。また、PCMCIAソケット(PCカードアダプター)にSCSIカード(PC9801N-J03)から外付けのPD(

CD-ROM + MO)とHDDの1Gバイトを認識して動作しています。Windows 95にUpdateしましたが16ビットのドライバが混在するマシンでインターネットに挑戦してみます。

今年の四月インターネットの環境を整備すべく、ISDN(INS64)デジタル公衆電話回線を導入しTA(ターミナルアダプタ)とDSUを購入しました。そしてサービスプロバイダーより五月にネットワークに関する設定のため次のものを取得しました。

アカウント(ユーザー)名 ————— b o b u p _ i y

パスワード —————

メールアドレス ————— アカウント 名

ネームサーバ —————

ドメイン名 —————

メール(SMTP, POP)サーバ ———

メール送信(SMTP)サーバ ———

ニュースサーバ —————

WWWサーバ —————

Proxyサーバ —————

TAのインストールには、PCMCIAモードとExternalモードの二種類があります。PCMCIAモードは同期、非同期どちらか一方を使用するモードでプロバイダーのわがままに従うことになり融通性がありません。しかし、Externalモードは初めから同期、非同期どちらもインストール(後で組み込んだドライバがデフォルト)しておきWINDOWSのダイアログボックスで選択できる自由度の高いモードです。欲深いb o b u p _ i y はExternalモードを選びました。

PCカードのスロットを認識するドライバを先に組み込み、後にTAカードの同期モード、非同期モードを選択するドライバをインストールする優先順位に注意が必要で、プラグ&プレイで増設できるTYPE IIのカードです。これでSCSIカードも同時に使用できると再認識しました。またSCSIカードとTAカードを同時に使用するときはスロット0にSCSIカード、スロット1にTAカードを挿入せよとNECは言っているのを確認しました。プラグ&プレイ対応でもカードスロットに使用規則があり無手勝流では歯が立ちません。TAの説明書ではPCユーザがPCの動作原理を全てクリアーしているものと仮定して記述しているので何度読み直しても理解しづらいものでした。

7月のある深夜、TA(NEC製AttermIC20)の同期、非同期をプロバイダー(kyoto-netは同期64K)に合せ接続テストを行っていました。経験が無いため接続後の処理がわからず四苦八苦どつばに嵌まり、上手く動作していないと思い込み諦めて寝ることとしました。

翌日再び挑戦しようとパソコンに電源を入れるとパスワードの***が連続して入力され止まらなくなりました。何度も電源の入れ直しを行い二日間が過ぎてしまい、CPU、BIOS、WI

N95 OS、ウィルスなどトラブルの原因を考えたが決め手がありません?????自動的に入力される文字は“7”と特定できました。でも、どうしようもありません。この状態でWINDOWS 95を再Updateすることにし、PDにUpdate用のWINDOWS 95セットし必死でしたのでどのように“SETUP”と入力したか定かではありませんがWINDOWS 95のSETUPは最後まで進みました。

再び電源の投入です。SETUP前と同じです“7”が連続して入力されます、どうもこうもありません、電源をOFFにして床に入り暑く寝苦しい真夜中まんじりともせず?????なぜ“7”が入力されるのかと考えていました、ハタときずきましたノートに外付けした10キーボードはどうなっているのだろう、パソコンを置いている台の下に見当たらない何処へいったのかケーブルを辿ると紙の下に隠れてはいませんか、この紙がキーを押しているのだと思い紙を取り除き10キーパッドを裏返しごみを払い、電源も入れず心を落ち着けやっと眠りにつきました。

翌日、はらはらしながらAC-ON、するとどうでしょうWINDOWS 95は今までは違いました正常に動作するように見えたが周辺機器のPDやHDD認識して動作していません、何故なのだ?????思い当たる節があるのです。WINDOWS 95をMS-DOSからUpdateしたのではだめなのです。WINDOWS 3.1から引き継いだ環境(SCSIカード、PD、HDDのドライバ)が無いのです、ただ内臓のHDDから立ち上がっているのです。ハードウェアウィザードが動作していないのです。物理的に接続するだけで動作するのはDOSのCONFIG.SYSに書き込み認識させねばならないのです。OSR2のW

WINDOWS 95では解決済みですか?、Update版のWINDOWS 95は不具合として残されていますのでご注意ください。研究会のほとんどの方はWINDOWS 95インストールモデルを購入されていますので心配いりません。私のように旧型機を活用される方は、なを一層の努力を要しますがリアルタイムの動画を扱うには現在のマシンでも能力不足だと思いますので基礎知識だけは皆さんと一緒に身に付けたいと思っています。

話が脱線しましたので元に戻します、もう一度DOS-WINDOWS 3.1-WINDOWS 95とインストールの手順を踏まなければならないのです。でも、WINDOWS 3.1のインストールモデルには、バックアップのFDもCD-ROMも添付されていません、しばし果然、啞然、全然、突然、蘇りました。PC98の初期モデルにはインストラクションにバックアップせよと注意書きがありバックアップしていました。内臓HDDよりOSバックアップしたのを見附ましたがどのようにリストアするのか思い出せません。本棚をごそごそしているとタイトルが“システムのバックアップ”という説明書があり、初めから読み直し作業を整理しながら、またこのようなことが起きたらたちどころに対応しようと悪い頭に叩き込みながらメモを取りました。

いよいよリストアです。PC9821Nfに添付していた、システムインストールディスク(中身はMS-DOS Ver 6.2)で立ち上げ、自動的に立ち上がるメニュープログラムで、内蔵HDDのFORMATに約20分かかりました。FORMATが終了したのにメニューに戻らない不親切なプログラムです。メッセージにはシステムインストールディスクはそのまま再立ち上げとあり、だんだん腹が立ってきました、そのままならメニューに戻ればいいのに……めえ……独り言、汗拭き拭き待つこと数十秒……自動的に立ち上がるメニュープログラムからシステムのリストアを選択。

リストア先B: リストア元A: とドライブの指定を行い、リストア済みのフロッピー36枚をコンピュータの言うがまま、バカニスルナ、ナメルナ、ブツブツぼやくこと一時間やっとリストア終了。だがPCMCIAソケット、SCSIカード、これにぶら下がるPDとHDDが認知されていない、試行錯誤するが如何にもならない。?????思案六方逃げたら負けと歯を食い縛りCONFIG.SYSを弄繰り回していると、昨年HDDの増設が上手くいかなく、Bit-I Nに駆け込みデバイスドライバの供給を受けたのを思い出してこのドライバーをCONGI G.SYSに追加するが、まだPDは知らん顔である、今度はPDのインストラクションをひも解けばCD-ROMはExtentionよりバージョンアップしてくれとある。

また、MS-DOS Ver 6.2のインストラクションにはバージョンアップ済みと書かれていたので、WINDOWS 3.1を起動しDOS BoxよりMS-DOSのコマンドDOSINSTで製品版のMS-DOSを被せてノインストールする。追加分のファイルがどれほどあったか分からないが、最後の最後にはWINDOWS関連のインストールメニューが起動したのでこれもキックした。もし、WINDOWS 95の再インストールに立ち向かわなければならない羽目になればMD-DOSの製品版を完全に最後(CONFIG.SYSとAUTIEXEC.BA

Tを作成するCUSTOMコマンド)まで済ませばルンルンルンだと結論ずけてOK!!!

さて、また脱線したので本題に戻ります。身の回りに散らかった本、フロッピー、筆記具、煙草等々かたづけ、身体も清め(トイレ)、いよいよWINDOWS 95のUpdate版の………努力は諦めずしてみるものだ必ず腹の底から湧きあがる喜びがある!!!!!!結果は当然成功か???WINDOWS 95インストールの途中だが月例会に、帰れば完了しているはずと楽しみを先延ばしにして皆さんの元気な顔と、新しい知識と、建設的な意見、刺激的材料を見付に出発しました。

WINDOWS 95の新機種を買うための虎の子はCX株に化けました。何がなんでも旧機種でインターネットを成功させねばならないところまで自分自身を追い込みました。

この続きは次号かインターネットで!?!?!?1997/8/2 AM2:40 bobup_iy

1997年8月4日深夜、というより5日早朝3時50分、扇町より2時間試験電波を發放するのでワッチしてレポートを提出せよとのこと、目覚まし時計をセットして寝るが蚊に刺され12時30分痒くて目が覚める、ワッチまでまだまだ時間があるが眠れず、インストールの続きをすることにする、WINDOWS 95は無事完了していたのでMicrosoft PLUS 95のインストールはPDが順調で問題無く完了、次はIME97、続いてOffice97でワッチも終わりにさしかんかる………実は電波は届かない、ノイズの中にABCの同期はずれのモノクロ画像をワッチしているだけである。Office97のインストール進行状況画面に新郵便番号がサポートされているとあり、IMEのアイコンから使用できるとある、いよいよインターネットだこれは手間暇かかる手順がある。

①ISDNターミナルアダプタAttermIC20PCカードの組み込み

TAを組み込む前にPCMCIAソケットの状態を調べ32ビットのドライバかどうか16ビットのドライバ(Windows 3.1用)なら32ビットのドライバ(Windows 95用)に替えTAを組み込む。

②AttermIC20には二つのモードがあり、PCMCIAモードとExternalモードである。

PCMCIAモードは非同期か同期64Kのどちらか一方のモデムとしてしか使用できない。

Externalモードは非同期と同期64Kの両方のデバイスドライバを組み込み

Windows 95→スタート→コントロールパネル→モデム→プロパティで指定できる。

③インターネットの設定をする。

kyoto-Netから送られてきた説明書どうり行う。TAの説明が不足している、TCP/IPのチェックを入力する部分でTCP/IP以外のチェックは全ていりませんと付け加えてほしかった。この一行で10日間は無駄をした。Netさんお願いしますヨ。

External モードを使用すれば非同期か同期64KのセレクトはPCMCIAモードよりも簡単にできるのでこちらを使用した。TAで用いられているPCMCIAモードとWindowsでのPCMCIAは意味が違う紛らわしいネーミングなのでなかなか理解が出来ませんでした。NECさん用語に注意してください。説明書やインストラクションは、まず疑いの目で読み慎重に全体を把握してください、これが理解する早道です。一言多かったです。ごめんくさい。

①②③を、実行すれば旧機種でも最新のインフラでインターネットにアクセスできそうですが、でもインターネットってあまり好きになれそうにもナイな一??……

Windows 95 PLUS95 I ME97 Office 97のインストールも無事完了し、①②③のメモを取り、何のトラブルも無く、AC-OFFしたPC9821Nfを8月8日、インターネット……と、AC-ONにするとどうでしょう。一難去ってまた一難、次から次へとトラブル発生です。旧型機でインターネットにアクセス出来るのでしょうか不安になります。CXは飛んでいくのでしょうか???

トラブルは、SCSIカード(NECのPC9801N-J03)のドライバ(MPS100.mps)が、ないとの表示です。CD-ROM UpdateのWindows 95)にはMPS100.mpsは添付されていないし、PCカードに添付されていたドライバは紛失して見当たらないがもし有ったとしてもWINDOWS 95が発売される前の16ビットのドライバなので能力は落ち使い物にならないが、どうして今までPDやHDDを認識できたか疑問です。これは、Windows 3.1にSCSIカードでPDを増設したので16ビットのドライバで十分だったのです。

この環境でWindows 95にUpdateしたのですが、今回はMS-DOSより直接WINDOWS 95にUpdateしたのでWindows 3.1から環境を引き継げなかったのが原因だと考えています。原因はわかりましたが、Windows 3.1に戻ってのしきり直しは進歩がありません、前進する方法が無いかと煙草に火を付け煙を吐き出したと同時に2GバイトのHDDを購入した時のことを思い出しました。3.1から95に世の中は移り変わる真っ只中だったのです。

Windows 95対応との宣伝を鵜呑みにしSCSIカード(PC9801N-J03)で動作するかどうかを確かめるとT-ZOONの店員はOKですと答えてくれたのでその当時としては割安だと思って購入しましたが、店頭では確かめることの出来ない説明書にはSCSIカード(PC9801N-J03)では、1Gバイトまでしか認識できないとあり、だましたなと文句を言いいき1GバイトのHDDに交換してもらい返金を迫ると出来ないというではアーマせんか、で同じタイプのHDDを2台と交換してくれと言うと、在庫はありませんのでPCIバス対応1GバイトのHDDならOKとのたまう、ひよとしたらデスクトップパソコンPC9821Afに増設できるかと思ったが、初志貫徹返金を迫ればチョット待ってくれと奥に引っ込みなかなか出てこない、数分後EPSONのPCMCIA SCSIカード(MSC-110)を持って出てきました。そして言うには後追い金5000円頂きたい。何だ間だと押し問答の末、HD

D1Gバイト2台(I/Oデータ製)とSCSIカード1枚手にして引き上げた。この実績の無い、SCSIカードとドライバを手始めの解決策と考え使用してみることにした。成功ですEPSON製のSCSI-2対応のPCカードとドライバがきげんよく働いています。あの時二度も足を運んだ努力が1年以上経ったいま実を結びました。インターネットに接続できたらPC9821N-J03のドライバのダウンロードと考えています。また、PCIバス対応HDDを無料提供しますので会報用のレポートを、どなたか書いてみませんか。今日8月8日はCXの株が店頭で取引される日です。55万が65万になっているでは有りませんか。ヤッタネでも売らないヨ………だいぶ引っぱりましたが今日はもう寝ます。

8月10日、いよいよインターネット接続手続きのセットアップを施す日がきました。

①ISDN Aterm IC20ターミナルアダプタの組み込みISDN(INS64)モジュージャックをPCカード(Aterm IC20)に添付されているケーブルでつなぎPC9821NfのPCMCIAソケットのスロット“1”に挿入する。AC電源はHDD、PD、PCの順序でONにする。

②PCは新しいハードウェアが接続されていればウイザードが見つけ出しセットアップを促す画面が現れユーザに選択入力させる。画面の説明はほどほどにして要点だけを述べる。

③Aterm IC20のドライバ(メーカー添付のフロッピーディスク)をFDドライブにセットしデバイス3.Aterm IC20 COM Adapter(for External)の選択をする。

④Aterm IC20 COM Adapterが組み込まれたか確認する。
スタート → 設定 → コントロールパネル → システム → デバイスマネージャ → ポート(COM/LPT) → Aterm IC20 COM Adapter(for External)(COM2)と、表示されていれば組み込みは完了。(プロパティ・I/Oポートアドレス 02F8-02FF, IRQ 03)

⑤Aterm IC20を非同期モデムとしてインストール。インストール手順省略

⑥Aterm IC20を同期モデムとしてインストール。インストール手順省略
モデムプロパティ COM1 4.Aterm IC20非同期(External)
モデムプロパティ COM2 5.Aterm IC20同期(External)
COM1、COM2をスイッチングできプロバイダーの選択肢が広がった。

⑦パソコンとTAとの接続の確認

Aterm IC20が使用しているポート番号の確認
スタート → 設定 → コントロールパネル → モデム
以上でTAのセットアップは終了です。

次はいよいよkyoto-net 接続手続きです

① ダイヤルアップネットワークを使用できるようにする。
スタート → 設定 → コントロールパネル → アプリケーションの追加と削除 →

Windows ファイル(ファイルの種類) → 通信 → 詳細 → ファイルの種類 →
ダイヤルアップネットワークにチェック → OK → OK

② TCP/IP の組み込み

スタート → 設定 → コントロールパネル → ネットワーク → ネットワークの設定 →

追加 → インストールするネットワーク構成ファイル(プロトコルの選択) → 追加 →

製造元(Microsoft) → ネットワークプロトコル(TCP/IP) → OK

③ 発信先を登録する

マイコンコンピュータ → ダイヤルアップネットワーク → 新しい接続(kyoto-netと入力) →

モデムの選択(Aterm IC20を選択していることを確認) → 次へ

市外局番(075) 電話番号(3253100) 国番号(日本(81)) → 次へ

プロバイダ名(kyoto-netの確認) → 完了

④ TCP/IP の設定をする。

マイコンコンピュータ → ダイヤルアップネットワーク → kyoto-net アイコンのセレクト →

ファイル → プロパティ → サーバーの種類 →

詳細オプションの各項目のチェックはすべて外す

使用できるネットワークプロトコルはTCP/IP だけチェックをいれる

この二行の説明がTAに関するものと思われるがkyoto-netの接続手順書は省いてありデフォルトで設定したのでは電話の接続だけでkyoto-netのホームページにアクセスできない!!!!

この二行の無いため10回以上の設定のやり直しと電話の無駄な接続を強いられたので血圧が高くなり切れそうになる。解れば簡単だが素人ユーザは説明書が命、もっと行き届いた説明書を要求したい。

TCP/IP の設定 → サーバーが割り当てたIPアドレスに●マークを入れる →

ネームサーバーアドレスを指定に●マークを入れる →

プライマリDNSに202.245.160.10

IPヘッダー圧縮を使用とリモートネットワークでデフォルトのゲートウェイを使用、両方にチェックマークを入れる。

OKのクリックで設定は完了

以上で無事インターネットにアクセス出来るようになりました。

原稿を早く書き上げ増田氏に送るべき準備をしていると、今回の会報は一週間も早く届き

封も切らず次月かと……………ワープロと戦いました。

1997.8.31 17:00 岩井宏安

DOS95の解説(第3回)

tomoppy

DOS95のコマンド解説もやっと峠に近づいた。11月号で終わりそうだ。今までに解説して質問があまりないので、DOSモードで操作をするようなソフトが無くなったものと思われる。Windows98の発売も延びようであるが、その中には、DOSモードのコマンドも無くなりそうだ。それを感じるような、別項に掲載した日電のIBM互換機発売の記事の内容から推測した。やっと、100%のGUIへ移行となるようだ。

11. LABEL

ディスクのボリュームラベルを作成、変更、または削除する。

LABEL [ドライブ:][ラベル]

12. MEM

システムで使用されているメモリと使用可能な空きメモリの量を表示する。

MEM [/CLASSIFY | /DEBUG | /FREE | /MODULE モジュール名] [/PAGE]

/CLASSIFY (/C) メモリの使い方によってプログラムを分類する。

プログラムサイズの一覧、使われて

いるメモリの概略、使用できる最大のメモリブロックを表示する。

/DEBUG (/D) メモリ内のすべてのモジュールの状態と内部ドライバやその他の情報を表示する。

/FREE (/F) 空きメモリの合計についての情報(コンベンショナルメモリと上位メモリの両方を含みます)を表示する。

/MODULE (/M) モジュールのメモリ使用状況の詳しい一覧を表示する。
モジュール名をオプションの次に指定しする。

モジュール名は:(コロン)で/Mと区切ることもできる。

/PAGE (/P) 一画面ごとに表示を一時停止しする。

13. MORE

出力を一度に 1 画面ずつ表示する。

MORE [ドライブ:] [パス] ファイル名

MORE < [ドライブ:] [パス] ファイル名

コマンド名 | MORE [ドライブ:] [パス] [ファイル名]

[ドライブ:] [パス] ファイル名 一度に 1 画面ずつ出力するファイルを指定する。

コマンド名 実行結果の出力を表示するコマンドを指定する。

14. MOVE

ファイルを移動したり、ファイルやディレクトリの名前を変更する。

ファイル(複数可)を移動するには:

MOVE [/Y | /-Y] [ドライブ:] [パス] ファイル名 1[,...] 受け側

ファイルやディレクトリの名前を変更するには:

MOVE [/Y | /-Y] [ドライブ:] [パス] ディレクトリ名 1 ディレクトリ名 2

[ドライブ:] [パス] ファイル名 1

移動したいファイルの位置と名前を指定する。

受け側 ファイルの移動先を指定する。受け側にはドライブ名とコロン、ディレクトリ名、またはそれらの組み合わせを指定する。

ファイルを 1 つだけ移動する場合、ファイル名も指定して移動するときにファイル名の変更をすることもできる。

[ドライブ:] [パス] ディレクトリ名 1

名前を変更したいディレクトリを指定する。

ディレクトリ名 2 ディレクトリの新しい名前を指定する。

/Y ディレクトリを作成するか、受け側を上書きするか確認するためのプロンプトを表示する。

/-Y ディレクトリを作成するか、受け側を上書きするか確認するためのプロンプトを表示する。

環境変数 COPYCMD に /Y スイッチを設定することもできる。

これは、コマンドラインで /-Y スイッチを指定すると無効になる。

15. MSCDEX

CD-ROM 装置をアクセス・コントロールする実行プログラムで、

「CDROM.SYS」のデバイスと一緒に組んで使う。

使い方: MSCDEX [/E/K/S/V] [/D:<ドライブ> ...] [/L:<文字>] [/M:<ハット>]

16. MODE

システムデバイス(プリンタや通信ポート、キーなど)

の設定をする。

プリンタポート:

MODE LPTn[:] [COLS=c] [LINES=l] [RETRY=r]

シリアルポート:

MODE COMm[:] [BAUD=b] [PARITY=p] [DATA=d] [STOP=s] [RETRY=r]

デバイス状態:

MODE [デバイス] [/STATUS]

リダイレクト印刷:

MODE LPTn[:]=COMm[:]

コードページ準備:

MODE デバイス CP PREPARE=((yyy[...]) [ドライブ:] [パス] ファイル名)

コードページ選択:

MODE デバイス CP SELECT=yyy

コードページリフレッシュ:

MODE デバイス CP REFRESH

コードページ状態:

MODE デバイス CP [/STATUS]

表示モード:

MODE [ディスプレイタイプ][,n]

MODE CON[:] [COLS=c] [LINES=n]

タイプライター率:

MODE CON[:] [RATE=r DELAY=d]

17. MOUSE

マウス・ドライバをインストールする。マウスの種類やマウス感度、カーソルなどをオプションでセットする。

MOUSE [Option1], [Option2], ...

2K, 3K Maps the logical number of mouse keys.

? Displays mouse configuration information.

AOFF Toggles Off the acceleration effect.

ALOW, AMEDIUM, AHIGH Sets the acceleration level.

COFF, CSLOW,

CFast Sets the cursor blinking rate to Off, Slow or Fast.

DCURSOR Sets the default mouse cursor.

DMIDDLE, DRIGHT, DBOTH Sets the drag lock for the left mouse button.

DNONE Disable the mouse drag lock effect.

INIT Resets the mouse to the factory default settings.

KIDZ Maps all keys equal to the left mouse button.

LCURSOR Locks the mouse cursor shape.

NORTH, SOUTH,

EAST, WEST Sets the orientation of your mouse.

MSWAP Swaps the right and middle mouse buttons (3 buttons only).

OUT Removes the mouse driver from memory.

S00 - S10 Sets the mouse speed.

18. MSIMEKEY

MS IME (MS日本語漢字変換) のキー定義を変更, 設定する。

MSIMEKEY [環境ファイル名 [/n] [/sスタイル名]] [/!] [/e]

/! 組み込まれている MS IME のキー定義を読み込み, 設定画面を表示す。
MS IME が組み込まれていない場合は, 初期定義を表示する。

環境ファイル名 指定された環境ファイルを読み込み, 設定画面を表示する。

/sスタイル名 指定された環境ファイルに指定されたスタイルのキー定義を書き込む。

/n 画面出力を行わない。

パラメータの指定がなければ, MSIMEKEY.INI ファイルに記述されているスタイル一覧を表示する。

出力辞書名 再編成の結果を出力する辞書ファイル名を指定する。

/w作業パス名 再編成作業に使用される領域を指定する。

/k格納率 辞書の格納率を指定する。(既定値は 80)

/d削除レベル 再編成時に学習単語を削除するレベルを指定する。

何も指定されなければ, 削除は行わない。

1 - 文節学習結果を削除する。

3 - 文節学習結果および学習単語を削除する。

/n 画面表示を行わない。

パラメータの指定がなければ, 辞書再編成の条件設定画面を表示する。

21. MSIMESSET

MS IME の環境設定を行う。

書式 MSIMESSET [/n] [入力ファイル名 [出力ファイル名]] [/?]

/n 現在の MS IME の設定を変更するだけで設定ファイルの内容は書き換えない。

入力ファイル名 指定された環境設定内容を画面に表示する。

出力ファイル名 設定内容を書き込むファイル名を指定する。

パラメータの指定がなければ, 現在のドライブの DOSIME.SYS ファイルを読み込み,

MS IME の環境設定画面を表示する。

※ コマンド説明の「IME」の解説

MS-DOSでは日本語フロントエンド・プロセッサ, あるいはフロントエンド・プロセッサ(略してFEP)と呼ぶことが多い。それに対して, Windowsでは「IME(Input Method Editor)」, Macintoshでは「IM(Input Method)」という呼称が使われている。

マイクロソフト版 Windows95の「MS-IME95 or 97」, 漢字Talk7.5の「ことえり」など, 主要な日本語対応OSは日本語入力ソフトを標準装備する。(日経BP社の「日経パソコン新語辞典 97年版より抜粋」)

次回は「S」の文字から始まるコマンドの解説をする。
(終わり)

19. MSIMELST

国語辞書の単語一覧を表示し, 画面上で単語削除を行う。

MSIMELST [辞書名] [/l一覧ファイル名] [/d削除レベルファイル名] [/e登録レベルファイル名] [/s]

辞書名 辞書のファイル名を指定する。

/l一覧ファイル名 単語一覧の結果を出力するファイル名を指定する。

/d削除レベルファイル名 単語削除の結果を出力するファイル名を指定する。

/e登録レベルファイル名 単語登録の結果を出力するファイル名を指定する。

/s 追加, 修正された単語をシステム単語として登録する。

パラメータの指定がなければ, 単語一覧と削除の条件設定画面を表示する。

20. MSIMERGN

国語辞書の再編成を行う。

MSIMERGN [入力辞書名] [出力辞書名] [/w作業パス名] [/k格納率]

[/d削除レベル] [/n]

入力辞書名 再編成を行う辞書のファイル名を指定する。

(*)「おおくわばら」(*)

Tomoppy,

インターネット・メールに下記のような美味しい話が舞い込んでいます。皆さんの所へは配信されていませんか。まさか、こんな美味しい話に乗っている方は無いことを祈っています。

From: nobuhiro shimada <nobushima@bellnet.com>
To: tomoppy@mtj.biglobe.ne.jp
Subject: 是非、MLMを御一読下さい!!
X-Mailer: Mozilla 2.011 [ja] (Win95; I)
Date: Tue, 16 Sep 1997 00:01:47 +0900

親愛なる皆様へ

突然のメールにて大変失礼いたします。
ブラインドカーボンコピーで送信しております。
間違いメールではありませんのでご了承下さい。
さて、この”MULTI LEVEL MARKETING”プログラムは少額(日本円で¥2000)の投資で驚くべき収益をあげるインターネットビジネスです。2-3分お時間を頂ければ幸いです。

Anyone who wants the English version, contact the sender of this mail.

ここに書かれている方法に従えばだれでも合法的に90日以内に\$50,000(¥6,000,000)の収益を確実にあげることが可能です。「そんな馬鹿な」とこのメールをごみ箱に捨ててしまわれる前に、2~3分のお時間をお取りいただき以下の”Program”に目をお通し下さい。

”MULTI LEVEL MARKETING”プログラムを私はすんでのところで捨ててしまおうとこころでした。幸いなことに(私はそれを捨てず)何度か読み、じっくりと考えたのです。

私の名はクリストファー・エリクソン。2年前、私はダウンサイジングのため12年勤め上げた会社から解雇処分を受けました。(景気の悪化から)転職も思うようにいかず私は自分で仕事を始めることにしたのですが、様々な財務的な問題に直面してしまっただけです。家族や親戚、債権者から\$35,000(約¥4,200,000)以上を借金しましたが、景気は悪化する一方で帳尻を合わせることもさえないに思えてきました。私は家族を養うためやむを得ず持ち家を抵当に入れた、さらに借金をするハメになったのです。

あるときふと思いました。このような形で借金を積み重ねていくのは間違いではないのか、と。ちょうど、そんなときでした。私の人生にある重要な転換期が訪れたのは、本日お手紙を差し上げたのは、私のこの経験をあなたと共有し、そしてより多くの豊かさやゆとりをあなたに手にして頂ければと考えたからです。

年の瀬も迫った12月の中頃、私はこの”MULTI LEVEL MARKETING”プログラムを電子メールで受け取ったのです。それ以前にもこれと類似したプログラムはあったのですが、私に言わせればどれも不完全なモノでした。その理由は

1. プログラムの内容が複雑で理解できない。
2. 初期段階の投資額があまりにも大きすぎる。
3. リスクが大きく必ず成功するとは限らない。

あるプログラムは1年で\$1,000,000(¥120,000,000)の収益をあげることが出来るというふれこみでしたが、詳しく調べてみると本を書かなければならないというオチがあったわけでした。

そして95年の12月に、私はこの”MULTI-LEVEL MARKETING”プログラムを受け取りました。別にどこかに問い合わせたわけではなく、私に送って下さった方は私のE-mailアドレスをメーリングリストから見つけられたのです。今思えば本当にラッキーだったと思います。何度も繰り返し読み”MULTI-LEVEL MARKETING”プログラムのシステムを十分に理解し私は確信に近いモノを得ました。確かにこれならば自分の出資可能な範囲の投資額で(これ以上借金を増やさず)確実な収益をあげることが出来る。それからメモ用紙と鉛筆を取り出し計算してみたところコレならば借金も返済できることが分かったのです。さらに、この”MULTI-LEVEL MARKETING”プログラムが現在マスコミで騒がれている「チェーンレター」の類ではなく完全に合法的なものであることを理解し「ならばやってみよう」と決めたわけでした。

この”MULTI-LEVEL MARKETING”プログラムについては後ほど詳述させていただきますが、私は一番はじめに10,000通の電子メールを送りました。それにかかったコストはわずか\$15(¥1,800)です。電子メールのすぐれている点は印刷費用が全くかからないということです。このプログラムを始めるに当たり私は自分自身に誓いました―「たとえ自分にどれだけの費用がかかろうとも、ほかの方に迷惑をかけたり騙したりしない」と。

”MULTI-LEVEL MARKETING”プログラムを送信して1週間後、”REPORT #1”(後で詳しく説明します)の注文が来始め、翌年1月13日までに合計で26通のご注文を頂きました。後で説明するグランティーには「2週間以内に15~20通の”REPORT #1”の注文が来なければならない(これは営業のノルマのような強制ではなく目標の収益をあげるためのバロメータです)もしそれだけの注文が来ないようであれば更に多くの(あなたが今読んでおられるこの)プログラムを送信しましょう。」と明記されてます。つまり、20日から90日で\$50,000(¥6,000,000)の収益を達成するという私の目標の第一段階は達成されたわけでした。さらに、1月30日までに私は”REPORT #2”の注文を196通受け取りました。これもグランティー「(”REPORT #1”受注後)2週間以内に100通の”REPORT #2”の注文が来なければ更に多くのメールを出しましょう。この目標が達成されればあとはあとは心配いりません。リラックスして待ちましょう。\$50,000(¥6,000,000)のゴールはもう目の前です。」にあるように第2段階が達成されたわけでした。そしてついに、3月19日までに私は

計 10,000 通のメールを送信し目標額を大幅に上回る \$58,000 (¥6,960,000) を達成したのです。

どうか、もう 2~3 分お時間をとって以下に説明されている "MULTI-LEVEL MARKETING" プログラムの説明を読まれることをお勧めします。このプログラムの説明に忠実に従っておこなえば確実にかつ合法的に収益をあげることが出来ます。何もしなければ、勿論そこからはなにも生まれません。また、確実に成功を収めるためには必ずプログラムにあるルールに従って下さい。特に注文先リストの "REPORT #1" ~ "REPORT #4" に間違った場所に名前を書いたりまた書き替えたりすると、このプログラムは本来の効果を発揮することが出来ず結果的に大きなチャンスを逃すことになります。それでは成功をお祈りしております。

クリストファー・エリクソン

成功されたほかの方からの声

「うっかり捨ててしまった私」ドーン W. (インディアナ州)
実は以前このプログラムを電子メールで受け取ったのですが、うっかり捨ててしまったのです。やっぱり捨てるんじゃないかな、と私は後悔しました。送り手が分からなかったのかどうかひたすら待つしかありませんでした。11ヶ月後それはまた再び送られてきました。今度は決して捨てたりしませんでした。ちなみに私の収益は現在 \$41,000 (¥4,920,000) です。

「人生にたなぼたはない？」

アラン B. (ペンシルベニア州)

亡くなった父がよく言ったものでした。「アラン、よくお聞き。この世の中にたなぼたというものはないんだよ。」私がこの "Multi Level Marketing" プログラムを始めたとき、最初は他の方のようにスムーズにはいかず正直いらだちを感じておりました。そこで私はもう少しスマートなやり方はないものかと考えある結論に達しました。それはこのプログラムに興味を示してくれそうな人を絞って送信するという事です。現在のところ私は \$63,000 (¥7,560,000) の収益をあげています。亡父もきっと私を誇りに思ってくれていることでしょう。

「感動の一言に尽きる」

メアリー・ライスフィールド (ミシガン州)

私はギャンブルの類とは全く無縁の人間でこのプログラムに参加するかどうか決断するのに3週間迷いました。始めた頃も元来とても保守的な性格が災いして少数の人にしかプログラムを送らなかったのも、結果は芳しくありませんでした。そこで一念発起して多くの人に送ったところ、郵便局の私書箱をみてビックリしました。注文の封筒で隙間もないくらいびっしりと入っているではありませんか！今年はより高い目標を掲げ過去10年で私が得た給与より多くの収益をあげるつもりです。

"Multi Level Marketing" プログラム開発者からの書簡

この "Multi Level Marketing" プログラムをお読みになったあなたはおそらくもうお気づきのことでしょう。そうです。この完全にして合法的なプログラムは素人やアマチュアが作成したものではありません。

この場を借りて自己紹介をさせていただきます。私の経営す

る会社は10年間順調に利益をあげておりましたが、1979年に傾きはじめてののです。いままで自分のビジネスを成功に導いてきたやり方を維持しながら努力したにも関わらず事業がうまくいかなかったのはなぜか？私は何度も考え答えを見いだしました。

1945年以来の成長がとまり落ち始めたのはインフレによる景気の後退のためだったのです。今までに例を見ない失業率の高さや相次ぐ企業の倒産の嵐が米国中を吹き荒れました。このことは多くの方もご記憶のことと思います。

米国の中流階級は崩壊しつつあります。巧みに投資活動を行っていたものは上流階級となり、投資や貯蓄を行っていなかったものは貧しい下級階層となり貧富の差が広がっていったのです。「富める者はますます栄え、貧しき者はますます貧困に苦しむ」という諺にあるとおりです。つまり、従来の方法ではゆとりと豊かさに満ちた生活を手に入れるのは不可能だ、ということです。

あなたが受け取ったこの "Multi Level Marketing" プログラムはほんの少しの努力でリスクを負うことなくこれからのあなたの人生に経済的な自由をお約束するものです。2~3カ月以内に今まで想像したことのないくらいの収益をあげられるでしょう。

私はこのプログラムの代償としてあなたをはじめこれを実践されている方から1ペニーのお金さえもいただくとは考えておりません。なぜならば私自身このプログラムを通して \$4,000,000 (4億8千万円) の収益をあげたからです。その後わたくしはこのプログラムからリタイアし、現在ではト国および海外にオフィスを開き "Multi Level Marketing" やその他のプログラムのマーケティング事業を行っております。この春からアメリカオンライン(A.O.L.) と提携を組みインターネット状においてマーケティング活動を展開する予定です。

成功する鍵は簡単です。この "Multi Level Marketing" プログラムの説明やルールに忠実に従って実践していただければよいのです。説明内容を勘違いしてやり方を間違えたり故意に内容を変更された場合は成功はお約束できません。今あなたがお読みになっている "Multi Level Marketing" プログラムを電子メールで心当たりのある人に送ってみましょう。あなたからこのプログラムを受け取った方の何人かは(非常に高い確率で)それをさらに50,000人の方に送られるかもしれません。そのプログラムの中には勿論あなたのお名前が載っているわけです。よく覚えておいて下さい。多く送れば送るほど効果は上がります。

さて、これで私はあなたにアイデア・情報・材料そしてチャンス差し上げたわけです。後はあなた次第です。

ここまでお読みになってまだ半信半疑の方、このプログラムをごみ箱に捨ててしまわれる前に(私もすんでの所でそうしてしまうとことでしたが)鉛筆とメモをご用意いただきもう一度よくご再考下さい。このプログラムに参加した場合の最悪のシナリオは初期に注文される "REPORT" (全部で #1~4 の4セット・各セットは \$5 / 日本では ¥500) 代金と電子メールの送信にかかるわずかなコストだけです。実際失敗することはございません。あなたの送られた "Multi Level Marketing" プログラムに最初の "REPORT" の注文が来たときあなたの疑問や不安は

計 10,000 通のメールを送信し目標額を大幅に上回る \$58,000 (¥6,960,000) を達成したのです。

どうか、もう 2~3 分お時間をとって以下に説明されている "MULTI-LEVEL MARKETING" プログラムの説明を読まれることをお勧めします。このプログラムの説明に忠実に従っておこなえば確実にかつ合法的に収益をあげることが出来ます。何もしなければ、勿論そこからはなにも生まれません。また、確実に成功を収めるためには必ずプログラムにあるルールに従って下さい。特に注文先リストの "REPORT #1" ~ "REPORT #4" に間違った場所に名前を書いたりまた書き替えたりすると、このプログラムは本来の効果を出すことが出来ず結果的に大きなチャンスを逃すことになります。それでは成功をお祈りしております。

クリストファー・エリクソン

成功されたほかの方からの声

「うっかり捨ててしまった私」ドーン W. (インディアナ州)
実は以前このプログラムを電子メールで受け取ったのですが、うっかり捨ててしまったのです。やっぱり捨てるんじゃないかな、と私は後悔しました。送り手が分からなかったのかどうかひたすら待つしかありませんでした。11ヶ月後それはまた再び送られてきました。今度は決して捨てたりしませんでした。ちなみに私の収益は現在 \$41,000 (¥4,920,000) です。

「人生にたなぼたはない？」

アラン B. (ペンシルベニア州)

亡くなった父がよく言ったものでした。「アラン、よくお聞き。この世の中にたなぼたというものはないんだよ。」私がこの "Multi Level Marketing" プログラムを始めたとき、最初は他の方のようにスムーズにはいかず正直いらだちを感じておりました。そこで私はもう少しスマートなやり方はないものかと考えある結論に達しました。それはこのプログラムに興味を示してくれそうな人を絞って送信するという事です。現在のところ私は \$63,000 (¥7,560,000) の収益をあげています。亡父もきっと私を誇りに思ってくれていることでしょう。

「感動の一言に尽きる」

メアリー・ライスフィールド (ミシガン州)

私はギャンブルの類とは全く無縁の人間でこのプログラムに参加するかどうか決断するのに3週間迷いました。始めた頃も元来とても保守的な性格が災いして少数の人にしかプログラムを送らなかったのも、結果は芳しくありませんでした。そこで一念発起して多くの人に送ったところ、郵便局の私書箱をみてビックリしました。注文の封筒で隙間もないくらいびっしりと入っているではありませんか！今年はより高い目標を掲げ過去10年で私が得た給与より多くの収益をあげるつもりです。

"Multi Level Marketing" プログラム開発者からの書簡

この "Multi Level Marketing" プログラムをお読みになったあなたはおそらくもうお気づきのことでしょう。そうです。この完全にして合法的なプログラムは素人やアマチュアが作成したものではありません。

この場を借りて自己紹介をさせていただきます。私の経営す

る会社は10年間順調に利益をあげておりましたが、1979年に傾きはじめてののです。いままで自分のビジネスを成功に導いてきたやり方を維持しながら努力したにも関わらず事業がうまくいかなかったのはなぜか？私は何度も考え答えを見いだしました。

1945年以来の成長がとまり落ち始めたのはインフレによる景気の後退のためだったのです。今までに例を見ない失業率の高さや相次ぐ企業の倒産の嵐が米国中を吹き荒れました。このことは多くの方もご記憶のことと思います。

米国の中流階級は崩壊しつつあります。巧みに投資活動を行っていたものは上流階級となり、投資や貯蓄を行っていなかったものは貧しい下級階層となり貧富の差が広がっていったのです。「富める者はますます栄え、貧しき者はますます貧困に苦しむ」という諺にあるとおりです。つまり、従来の方法ではゆとりと豊かさに満ちた生活を手に入れるのは不可能だ、ということです。

あなたが受け取ったこの "Multi Level Marketing" プログラムはほんの少しの努力でリスクを負うことなくこれからのあなたの人生に経済的な自由をお約束するものです。2~3カ月以内に今まで想像したことないくらいの収益をあげられるでしょう。

私はこのプログラムの代償としてあなたをはじめこれを実践されている方から1ペニーのお金さえもいただくとは考えておりません。なぜならば私自身このプログラムを通して \$4,000,000 (4億8千万円) の収益をあげたからです。その後わたくしはこのプログラムからリタイアし、現在ではト国および海外にオフィスを開き "Multi Level Marketing" やその他のプログラムのマーケティング事業を行っております。この春からアメリカオンライン (A.O.L.) と提携を組みインターネット状においてマーケティング活動を展開する予定です。

成功する鍵は簡単です。この "Multi Level Marketing" プログラムの説明やルールに忠実に従って実践していただければよいのです。説明内容を勘違いしてやり方を間違えたり故意に内容を変更された場合は成功はお約束できません。今あなたがお読みになっている "Multi Level Marketing" プログラムを電子メールで心当たりのある人に送ってみましょう。あなたからこのプログラムを受け取った方の何人かは (非常に高い確率で) それをさらに50,000人の方に送られるかもしれません。そのプログラムの中には勿論あなたのお名前が載っているわけです。よく覚えておいて下さい。多く送れば送るほど効果は上がります。

さて、これで私はあなたにアイデア・情報・材料そしてチャンス差し上げたわけです。後はあなた次第です。

ここまでお読みになってまだ半信半疑の方、このプログラムをごみ箱に捨ててしまわれる前に (私もすんでの所でそうしてしまうとことでしたが) 鉛筆とメモをご用意いただきもう一度よくご再考下さい。このプログラムに参加した場合の最悪のシナリオは初期に注文される "REPORT" (全部で #1~4 の4セット・各セットは \$5 / 日本では ¥500) 代金と電子メールの送信にかかるわずかなコストだけです。実際失敗することはございません。あなたの送られた "Multi Level Marketing" プログラムに最初の "REPORT" の注文が来たときあなたの疑問や不安は

各レポートのタイトル

”REPORT # 1 ”:「Multi Level Marketing Program の合法性」

”REPORT # 2 ”:「メールアドレスの入手方法」

”REPORT # 3 ”:「郵便について」

”REPORT # 4 ”:「Multi Level Marketing Program のひろがり」

改定年度: 1997

あなたがこのプログラムを進めていく上で”REPORT”(#1~4)全てが必要になります。ルール上たとえば”REPORT # 1 ”の注文先:」の方からは#1以外のモノは注文できません。

ステップ2

(1) あなたが今現在読んでいらっしゃるこのプログラムの「*****レポートの注文先*****」「”REPORT # 1 ”の注文先:」のところにあなたの名前または任意の会社名と住所をローマ字で記入して下さい。スペルや名前など間違えないよう注意します。

(2) ””REPORT # 1 ”の注文先:」にあった名前と住所を””REPORT # 2 ”の注文先:」に移します。

(3) ””REPORT # 2 ”の注文先:」にあった名前と住所を””REPORT # 3 ”の注文先:」に移します。

(4) ””REPORT # 3 ”の注文先:」にあった名前と住所を””REPORT # 4 ”の注文先:」に移します。

(5) ””REPORT # 4 ”の注文先:」にあった名前と住所はこのリストから完全に外れるわけです。この方はおそらく今頃銀行に向かっていらっしゃることでしょ

注) 注文先リストの順番を狂わせたり、故意に変更を加えないで下さい。結果的にあなた自身が大きな損失を被ることになってしまいます。

ステップ3

ステップ2が終了したらこのプログラムを保存してください。また、万が一に備えバックアップもとっておきましょう。

ステップ4

それではステップ3で保存したプログラムを電子メールで送ってみましょう。まずはあなたのお友達や家族にこのすばらしいプログラムを送ってあげましょう。

私もそうしました。今では彼らは私に大変感謝しています。そうしたら、次はあなたの知識と想像力を使って色々な方々に送信してみてください。インターネット上にはメールアドレスを販売している会社が多く存在します。しかも価格は大変安く、私の場合10000件で\$35ドル(¥4200位)でした。大きな効果を期するのであればなるべく新しく新鮮なアドレスを購入しましょう。

注) ”MULTI LEVEL MARKETING”プログラムを電子メールで送信される場合、書かれている内容に変更を加えたり一部を削除したりせず全体を送るようにして下さい。これは大変重要なことです。
結論

現在私はゆとりと豊かさに満ちた人生を楽しんでいます。あなた自身も20~90日以内にそうなっていることでしょう。そのためには?そう、先ほどお読みいただいたステップ1~4の方法に従うだけです。

経済的なゆとりは心のゆとりにもつながります。このプログラム

で得られた収益を元にビジネスを始められるもよし、投資するもよし、休暇をとられてリラックスするもよし、全てあなたの自由です。

ところが現実には多くの方々が「経済的に完全な自由」を逃してしまっているのです。それは何故でしょうか?チャンスがドアをノックしているのに、それを無視することを自ら選択してしまっているからです。「ノー」と言うのは「イエス」と言うことよりた易いことです。あなたはどちらでしょう?このすばらしいプログラムを「ノー」と言って無視されますか?それとも「イエス」と言って利用しようと考えますか?もし「ノー」であればあなたは大きなチャンスを逃したことになりますし、何も状況は変わらないでしょう。「イエス」であれば、完全を期す意味でもう一度このプログラムを読み返してみてください。

このプログラムは、商品である(”REPORT”)を各\$5で多くの人に販売するというものです。電子メールを活用するのでコストはほとんどかかりません。しかも合法的でインターネットを利用している方であればだれでも参加することが出来ます。これは巷で騒がれている「チェーンレーター」や「ピラミッドスキーム」とは全く別のモノです。おそらくあなたは今までにそれら非合法のモノを受け取りお金を送るように言われた経験がおりかもしれません。しかも、それらはお金を支払ってもそれにみあう「商品」はなにもついてこない、これが非合法である所以です。さらに「チェーンレーター」や「ピラミッドスキーム」はだれかが故意にルールを破る確率が非常に高くそれ自体を魅力のないモノにしているのです。

あなたが参加されようとしている”MULTI LEVEL MARKETING”プログラムはそれらとは違い完全に合法的なモノなのでご安心下さい。あなたは注文が来たら料金を受け取り商品(”REPORT”)を送るわけです。その”REPORT”を受け取った方々もあなた同様に、プログラムを電子メールで多くの人に送信し(宣伝活動を行い)、注文が来たら指定のレポートを送るという仕組みで、いわゆるフリーエンプライズになるわけです。先ほども説明したように商品である”REPORT”は内容的にみて一種の「金融ビジネスレポート」でこの”MULTI LEVEL MARKETING”プログラムのみならず、その他のビジネスにも十分応用することのできる有益な情報が述べられています。あなたの購入される”REPORT”は複写可能(copiable)扱いになっていますので注文が来たら指定のメールアドレスにレポートを送信するだけです。

題名は”REPORT * ”にしてください。それでは幸運をお祈りします。

成功へのヒント

このプログラムを電子メールで送り始める前に、「レポートの注文先」リストの方々から”REPORT”を注文し、#1~#4全てのセットをそろえて下さい。なぜなら、あなたに注文が来る。

マイクロ・コンピュータからパーソナル・コンピュータに

Level Marketing”プログラムを電子メールで心当たりのある人に送ってみましょう。あなたからこのプログラムを受け

取った方の何人かは(非常に高い確率で)それをさらに50,000人の方に送られるかもしれません。そのプログラムの中には勿論あなたのお名前が載っているわけです。よく覚えておいて下さい。多く送れば送るほど効果は上がります。

さて、これで私はあなたにアイデア・情報・材料そしてチャンス差し上げたわけです。後はあなた次第です。

ここまでお読みになってまだ半信半疑の方、このプログラムをごみ箱に捨ててしまわれる前に(私もすんでの所でそうしてしまうとことでしたが)鉛筆とメモをご用意いただきもう一度よくご再考下さい。このプログラムに参加した場合の最悪のシナリオは初期に注文される"REPORT"(全部で#1~4の4セット・各セットは\$5/日本では¥500)代金と電子メールの送信にかかるわずかなコストだけですが、実際失敗することはございません。あなたの送られた"Multi Level Marketing"プログラムに最初の"REPORT"の注文が来たときあなたの疑問や不安は雲散霧消することでしょう。

ポール・ジョンソン(ノースカロライナ州)

それでは具体的な話に移ってまいりましょう。仮にあなたが今読んでいるこの"Multi Level Marketing"プログラムを2000通送信し、受け取った方の0.5%(統計による実質的な平均値)が興味を示したとしますと、"REPORT#1"の注文が10人の方から来ることになります。この10人の方たちも同様に2000通のプログラムを送った場合 $2000 \times 10 \times 0.5\% = 100$ 人の方が"REPORT#2"の注文をしてくることになります。この100人の方が2000通のプログラムを送った場合同様の計算から $2000 \times 100 \times 0.5\% = 1000$ 人の方から"REPORT#3"の注文が来ることになります、そしてこの1000人の方々がそれぞれ2000通のプログラムを送った場合 $2000 \times 1000 \times 0.5\% = 10000$ 人の方から"REPORT#4"の注文が来て、この例からいくと早ければ20日遅くとも3ヶ月以内に、 $\$50 (\$6,000) + \$500 (\$60,000) + \$5,000 (600,000) + \$50,000 (\$6,000,000) = \$55,550 (\$6,666,000)$ の収益をあげることができることになります。これは上記成功例をお読みいただいたあなたにはお分かりかと思いますが、単なる論理的な推測ではありません。ほんの少しの投資と努力で誰もが達成できることなのです。

これはあくまでも統計的な予測ですが、あなたの送ったプログラムを受け取った2000人のうち1990人は特に興味を示すこともなくこの"MULTI LEVEL MARKETING"プログラムをごみ箱に捨ててしまうということが考えられます。ですから、効果を上げるにはなるべく多くのプログラムをメールで送ることが大切です。2000通で10人(0.5%)なら、100、000出せば500人近くの方から"REPORT #1"の注文を頂ける確率が高くなると言うことになります。

これは電子メールをお持ちであればだれでも簡単にかつ合法的にプロフィット(収益)をあげることの出来るプログラムです。人とコンタクトしたり、重労働を強いられたりする事は全くありません。せいぜい注文のメールを取りに郵便局(私書箱を設置した場合や局留めの場合)に行くことくらいです。どうかこのチャンスを見逃さないで下さい。この"MULTI LEVEL MARKETING"プログラムで成功を収めることは決して難しいことではありません。以下に述べる説明に従っていただくだけで

す。ルールを勘違いしたりまた、意図的に変更を加えたりしない限り100%確実にいきます。他のかたはすでに着々と準備を始められているかもしれません。あなたが長く待てば待つほど不利になるということも心に留めて置いて下さい。

"MULTI LEVEL MARKETING"プログラムはここに至って社会全般の信頼を得たと言えます。なぜなら、このマーケティング理論はハーバードビジネススクールで正式な教科として教えられ、またスタンフォードリサーチやウォールストリートジャーナルでも、1990年代中盤から後半にかけて、商品やサービスの50~65%はこのマーケティング手法を用いて販売されると公式の見解を述べているからです。さらに、アメリカでミリオネアー(億万長者)と呼ばれる50万人のうち20%にあたる10万人の方々は"MULTI LEVEL MARKETING"プログラムで成功しましたし、これも統計から得られた数字ですが、このプログラムを通して毎日45人のミリオネアー(億万長者)が誕生しているのです。

やり方の説明

ここで繰り返し申し上げておきますが、これはちまたで騒がれている「チェーンレター」の類ではありません。完全に合法的なプログラムです。それでは"MULTILEVEL MARKETING"プログラムのやり方を説明いたします。このプログラムを開発するにあたり当社(エリス・メールオーダー・マーケティングビジネス)ではパートナーと提携を結び"REPORT"(#1~4)の販売をしております。アメリカ合衆国では"MULTI LEVEL MARKETING"プログラムを進めるに当たり、だれもがパートナーと提携しビジネスを展開することを法的に認めています。その際、お客様から支払われた料金に対し商品・サービス("REPORT")を提供する必要があります。このビジネスの利点は自宅、お店、会社など場所を問わず行うことが出来るという点です。

ステップ1

まずレポートを注文することから始めます。商品であるレポートには全部で"REPORT #1"から"REPORT #4"まで4種類があります。各レポートの価格は\$5(日本の市場では¥500)です。レジスタードメール:書留(日本では現金書留)に料金と注文書(お名前・E-mail・レポート番号・料金・改定年度を明記)、を同封し以下の住所に郵送します。"REPORT" #1~#4はそれぞれ注文先が異なりますので注意して下さい。またこのプログラムはインターナショナルなものですので住所は全て英語表記になっています。

*****レポートの注文先*****
"REPORT#1"の注文先:

Nobuhiro Shimada
173 Kotanbetsu Tomamae-Chou Tomamae-Gun Hokkaido
078-36 Japan
〒078-36 北海道苫前郡苫前町字古丹別173
島田 信宏

"REPORT #2"の注文先:
Seiya Noda

Kita-Yubinkyoku Kita-ku Sapporo-shi Hokkaido 001
Japan
〒001 北海道札幌市北区 北郵便局留
F-プロジェクト 野田 政哉

”REPORT #3”の注文先：
takeshi hayashi
sawara-ku arae2-10-28 fukuoka-shi fukuoka-ken
814 Japan
〒814 福岡県福岡市早良区荒江2-10-28
林 武志

”REPORT #4”の注文先：
Tetsuro Chiba
Kashiwa-Yubinkyoku Kashiwa-shi Chiba-ken 277 Japan
〒277 千葉県柏市 柏郵便局留
千葉 哲朗

各レポートのタイトル

”REPORT #1”：「Multi Level Marketing Program の合法性」

”REPORT #2”：「メールアドレスの入手方法」

”REPORT #3”：「郵便について」

”REPORT #4”：「Multi Level Marketing Program のひろがり」

改定年度：1997

あなたがこのプログラムを進めていく上で”REPORT”（#1～4）
全てが必要になります。ルール上たとえば”REPORT #1”の注
文先：」の方からは#1以外のモノは注文できません。

ステップ2

(1) あなたが今現在読んでいらっしゃるこのプログラムの
「*****レポートの

注文先*****”REPORT #1”の注文先：」のところにあなたの
名前または任意

の会社名と住所をローマ字で記入して下さい。スペルや名前など
間違えないよう注意します。

(2) ”REPORT #1”の注文先：」にあった名前と住所を”REPORT
#2”の注文先：」に移します。

(3) ”REPORT #2”の注文先：」にあった名前と住所を”REPORT
#3”の注文先：」に移します。

(4) ”REPORT #3”の注文先：」にあった名前と住所を”REPORT
#4”の注文先：」に移します。

(5) ”REPORT #4”の注文先：」にあった名前と住所はこのリ
ストから完全に外れるわけです。この方はおそらく今頃銀行に向
かっていらっしゃることでしょう ^^;

注) 注文先リストの順番を狂わせたり、故意に変更を加えないで
下さい。結果的にあなた自身が大きな損失を被ることになってし
まいます。

ステップ3

ステップ2が終了したらこのプログラムを保存してください。ま
た、万が一に備えバックアップもとおきましよう。

ステップ4

それではステップ3で保存したプログラムを電子メールで
送ってみましょう。まずはあなたのお友達や家族にこのすば
らしいプログラムを送ってあげましょう。

私もそうしました。今では彼らは私に大変感謝しています。そ
うしたら、次はあなたの知識と想像力を使って色々な方々に
送信してみてください。インターネット上にはメールアドレス
を販売している会社が多く存在します。しかも価格は大変
安く、私の場合10000件で\$35ドル(¥4200位)で
した。大きな効果を期するのであればなるべく新しく新鮮な
アドレスを購入しましょう。

注) ”MULTI LEVEL MARKETING”プログラムを電子メールで送
信される場合、書か

れている内容に変更を加えたり一部を削除したりせず全体を
送るようにして下さい。これは大変重要なことです。

結論

現在私はゆとりと豊かさに満ちた人生を楽しんでいます。
あなた自身も20～90日以内にそうなっていることでしょ
う。そのためには？そう、先ほどお読みいただいたステップ
1～4の方法に従うだけです。

経済的なゆとりは心のゆとりにもつながります。このプログ
ラムで得られた収益を元にビジネスを始められるもよし、投
資するもよし、休暇をとられてリラックスするもよし、全て
あなたの自由です。

ところが現実には多くの方々が「経済的に完全な自由」を
逃してしまっているのです。それは何故でしょうか？チャン
スがドアをノックしているのに、それを無視することを自ら
選択してしまっているからです。「ノー」と言うのは「イエス」
と言うことよりた易いことです。あなたはどちらでしょう？
このすばらしいプログラムを「ノー」と言って無視されます
か？それとも「イエス」と言って利用しようと考えますか？
もし「ノー」であればあなたは大きなチャンスを逃したこと
になりますし、何も状況は変わらないでしょう。「イエス」で
あれば、完全を期す意味でもう一度このプログラムを読み返
してみてください。

このプログラムは、商品である(”REPORT”)を各\$5で多
くの人に販売するというものです。電子メールを活用するの
でコストはほとんどかかりません。しかも合法的でインター
ネットを利用している方であればだれでも参加することが出
来ます。これは甚で騒がれている「チェーンレーター」や「ピ
ラミッドスキーム」とは全く別のモノです。おそらくあなた
は今までにそれら非合法のモノを受け取りお金を送るように
言われた経験がおりかもしれません。しかも、それらはお
金を支払ってもそれにみあう「商品」はなにもついてこない、
これが非合法である所以です。さらに「チェーンレーター」や
「ピラミッドスキーム」はだれかが故意にルールを破る確率が
非常に高くそれ自体を魅力のないモノにしまっているの
です。

あなたが参加されようとしている”MULTI LEVEL MARKETING”
プログラムはそれらとは違い完全に合法的なモノなのでご安
心下さい。あなたは注文が来たら料金を受け取り商品
(”REPORT”)を送るわけです。その”REPORT”を受け取った方々

もあなた同様に、プログラムを電子メールで多くの人に送信し（宣伝活動を行い）、注文が来たら指定のレポートを送るという仕組みで、いわゆるフリーエンタープライズになるわけです。先ほども説明したように商品である”REPORT”は内容的にみて一種の「金融ビジネスレポート」でこの”MULTILEVEL MARKETING”プログラムのみならず、その他のビジネスにも十分応用することのできる有益な情報が述べられています。あなたの購入される”REPORT”は複写可能(copiable)扱いになってますので注文が来たら指定のメールアドレスにレポートを送信するだけです。

題名は”REPORT *”にしてください。それでは幸運をお祈りします。

成功へのヒント

このプログラムを電子メールで送り始める前に、「レポートの注文先」リストの方々から”REPORT”を注文し、#1～#4全てのセットをそろえて下さい。なぜなら、あなたに注文が来しだいそれらを商品（サービス）として送信しなければならないからです（アメリカ合衆国郵便法セクション1302の項目1341）

レポートが到着するまでにしておくこと

1. 実名または任意の会社名をつくりましょう。このプログラムはインターナショナルなものなのでローマ字または英語をお勧めいたします。

2. たくさんのメールが予想されるので私書箱(P.O.BOX)を設置すると良いでしょう。日本の郵便局では簡単な審査がありますが料金は一切かかりません。ただ都心はほとんどいっぱいの状態なので、第2の選択肢として局留(POSTE RESTANTE)を利用する手があります。詳しくは”REPORT # 3”をご参照ください。

3. 「レポートの注文先」のリストの”REPORT # 1”の所にあなたの名前（会社名）と住所を記入します。先ほど説明したように一つずつ下にずれて”REPORT # 4”の名前と住所がリストから外れるわけです。以下に例をあげますのでよく理解して下さい。

あなたの受け取ったプログラムにある「レポートの注文先」のリスト例

”REPORT # 1”の注文先：

name 1

address 1

”REPORT # 2”の注文先：

name 2

address 2

”REPORT # 3”の注文先：

name 3

address 3

”REPORT # 4”の注文先：

name 4

address 4

あなたがこれから送信するプログラムの「レポートの注文先」のリスト例

”REPORT # 1”の注文先：

YOUR (COMPANY)

NAME

YOUR ADDRESS

”REPORT # 2”の注文先：

name 1

address 1

”REPORT # 3”の注文先：

name 2

address 2

”REPORT # 4”の注文先：

name 3

address 3

※ name 4 と address 4 はリストからはずれる

4. ”REPORT # 2”からはアドレスの取得方法について詳しいアドバイスが得られますが、とりあえずそれが到着するまで、あなた独自のアイデアでアドレスを集めて下さい。

5. どのくらいのプログラムを送るのか明確な目標をたてましょう。勿論多く送れば送るほど効果があります。

6. いつでも注文に対応できるよう”REPORT” # 1～# 4のコピーをとっておきましょう。注文された方もそれをコピーして使われるので、故意に変更したり、削除したりしないように注意しましょう。また、注文が来たらなるべく早めに対応するようにして下さい。

グランティーについて

グランティーとはあなたがこのプログラムによって成功しつつあるかどうかを注文数によって理解する一種のパロメータだとお考え下さい。例えばあなたがこのプログラムを送ったとして”REPORT # 1”の注文が2週間以内に15～20来ればあなたは第一段階を問題なくクリアしたと言えます。もしこの数字を下回るようでしたら、さらに多くの方々にプログラムを送りましょう。さて2週間以内に”REPORT # 1”の注文が15～20（以上）きたら、さらにそこから2週間以内（通算4週間以内）に”REPORT # 2”の注文が100以上来れば第二段階を無事クリアしたことになります。あとはソファにでも座ってゆっくりくつろいで待っていて下さい。確実に\$50,000（¥6000、000）の収益をあげることが出来るはずです。これはこれは論理的な数値ではなく統計で実証されている数字です。

最後に

西洋の諺「何も努力をしない者は何も望む資格はない。」
「わずかの時間と努力そしてわずかの投資をして成功を収めるか、それらを惜しんで今まで通りの生活を送るか、それはあなたの決断次第。」

(社) パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会 祝 設立20周年記念

併催 京都マイコン研究会

「パソコン20年を振り返って」

マルチメディアを睨みつけよう

かみがしげよし

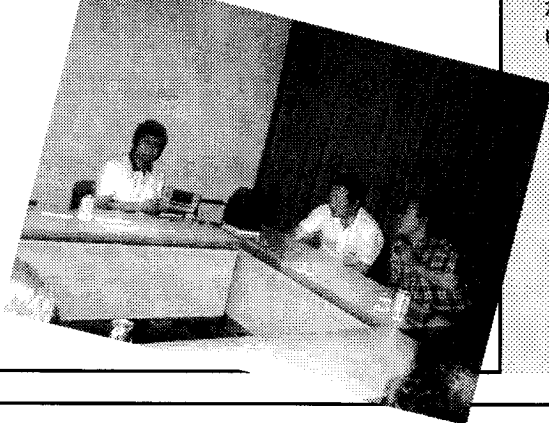
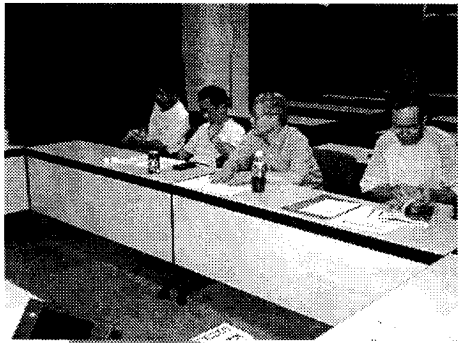
午後九時、帰宅した僕は愛機DELLのSWを入れる。冷却ファンの唸りとともにWindows95のテロップが出た。メールソフトを起動する。すると先日、宮川町の舞子さんに出していたメールの返信(おおきに、小糸どす)のタイトルが出た。僕は嬉しくなってタイトルをクリックする。……花街のことばがCRTの文字になって連なる。僕はフト考える。昔だったら、いくら同じ京都の町に住んでいるとはいえ、舞子さんと言葉を交わせるなどとは考えも出来なかつたなあ。ましてや僕のような、しがない安サラーマンである。マルチメディアで代表されるコンピュータとネットワークが、世間の階層のボーダレスを実現してくれたからだと感じる。でも何故か少し不安がよぎる。これは僕にとっての現実の出来事なのか。……確かにメールとはいえ「小糸」さんとは知り合えたのだから、僕に彼女と楽しく遊べる経済力があれば、タクシーを飛ばせば何時でも会えるのだが。この辺りの境界は厳として存在していたのだ結局、僕は目醒めながら夢をみているのかも知れない。

僕の中でバーチャルとアクチュアルは混沌としてくる。

いま僕の会社では、マルチメディアを儲けの糧に二十世紀へ花咲かせようと躍起だ。この掛け声を仮想と現実の狭間で聞いていると、生き物としての地球人の本分から離れていく生き方をしてしまうような不安に駆られる。電子機器と通信のインフラがマルチメディアとなつて、人の世に仮想と現実の混合したカオス的環境を造ってしまったら……と考えるとたまらない。CRTとスピーカーが醸し出すメディアはあくまで仮の姿なのだと叫びたい。僕ら人類は電子メディアを造りだす数千年もの昔から、絵画、彫刻、織物、陶器、歌舞、演劇、文芸、音楽……とありとあらゆる媒体に託して芸術を文化を高らかに囁い、磨き上げてきた。これらのメディアと人間の間には、肉体と心が直接混じわって創りあげられた命が脈打っている。

今日、パソコンの寿命は二年といわれ、税制上の減価償却とのあまりのギャップが問題にさえなっている。五年も経れば今まで表現できていたパソコンメディアは、そのコンテンツを音も姿も表せなくなるほど、短命な危険をはらんでいる。

例会風景スナップ



そう言えば、国際文化研究所（京都・桂）の森岡氏は、この時代を『意識通信の時代』と命名して「現代の若い世代は、情報の正確な伝達より、情報ネットワークが造り出す架空世界の中で、他人と触れ合うこと自体を求め合う。新たな情報社会とは、電子メディアが生み出す『架空世界』の中で、人びとが種々なタイプの人間関係を増幅させていく社会」と指摘している。

テレビゲームや映像のおどましい殺戮の仮想世界と、現実の区別のつかなくなった人びとが街にうごめく時代を思うとゾッとする。

僕はマルチメディアがたとえ二十一世紀に五〇兆円産業といわれても、地上で生きてきた原点の衣・食・住と、鍛えられ創造してきたメディアから目を見据え、このケバケバしいメディアを飼い馴らさなければ、地球環境の破滅的状况を引き連れ、人類滅亡のシナリオを突きつけられるような気がしてならない。

インターネット部会

部長 若井征夫

97年9月22日午前10:00より午後7:00まで、事務局（増田宅）に於いてインターネット部会が開催されました。

ほとんど完成された状態で、みなさんにデザインやレイアウトを見ながら修正されました。文面はもちろんテーブルやカラー、壁紙など全体にシンプルに作成されています。本来の目的を重視したホームページ作りに徹したすばらしい完成度でした。最後に残された部分は、各担当されている部会のリンク部分。つまり、部長さんのホームページの完成を待つばかりです。

今回は、以前と違いインターネット部会の部長さんも一息付いたようでした。みなさんご苦労さんでした。今後は、リンク先となる三役さんと各部長さんのホームページの完成をお手伝いさせていただきます。



部長さんが一息ついている所を失礼しました。

京都マイコン研究会 ネットワーク時代のデータベース

事務局 増田

前回例会でもお話ししましたが、近年の私たちのパソコンに関する状況の変化は著しい物があります。このような状況下で今、みなさんが体験しておられる現状やハード、システム、利用環境など2年前とはかなり変貌した事でしょう。その、今のデータを、お知らせください。最新のデータベースにして保存蓄積していきたいと思っています。現在事務局にはそのようなデータは住所録だけです。（以前アクセスで作成をころみようと思っただけでおわりましたが今回は完成を見たいと思います。）事務局に、みなさんから「どれどれのメーカーのハードの内容を知りたいのですがどなたに相談すれば良いですか？」と問い合わせには、うろたえるばかりです。

また、ソフトの場合も同じです。この面倒な作業も後には自分たちのアドバイスや重要な問題を解くキーを得る事になり、すばらしい未来を約束できるのです。

E-mailでもみなさんに添付ファイル（エクセル／ロータス1・2・3双方添付）にて配信いたしますのでそれぞれの箇所に例を参考に記入の上返信してください。FDDのメディアご入用の方は事務局までご連絡ください。

ご面倒ですが、みなさんにご協力をお願いしたいと思います。（お解りだとは存じますがデータはE-mailかFDDのメディアで頂きますようお願いいたします。）

このネットワークデータベースは、11月例会（オフィス97 エクセル講習会 担当 増田）に於いて利用の仕方と目的を実習させていただきます。

全会員の、「ネットワーク時代のデータベース」と題して会員のデータベースを作成したいと思いますので少しずつ完成してください。

（社）パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会 創立20周年記念に伴う併催行事「パソコン20年を振り返って」

（社）パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会が本年10月で、設立20周年に当たります。

当、京都支部でもそれを記念して、自分自身の心の中に存在するパソコンとは何であるのかという事を論じたレポート提出して頂く祝賀の企画を、事務局で発案いたしました。本号から毎号随時掲載する予定です。

つきましては、会員各位様洩れなく提出下さい。400字位の少文章で結構ですので、お見逃しのなきように、お知らせいたします。